

2025年度 地区別父母懇談会 開催報告



平成5年5月10日創刊
令和7年10月20日発行
(第130号)

二松学舎大学父母会
(本部・事務局)
東京都千代田区三番町6番地16
二松学舎大学学生支援課

題字は
故 観山貞広常吉先生書



二〇二五年度二松学舎大学地区別
父母懇談会が、六月二十八日（土）
の水戸会場を皮切りに、八月二日
（土）まで全国三都市（水戸市・高
崎市・千代田区「九段キャンパス」）
で開催されました。

地区別父母懇談会は、父母会の主
要事業の一つです。大学の現況や学
生生活等について報告し、学業成績
や進路等について保証人と教職員が
一体となって考え、学生生活のさら
なる充実を図ることを目的としてい
ます。

本懇談会では、大学の現況や本学
の教育方針、学習状況・学生生活等
についての報告、質疑応答を行い、
懇談会終了後には、希望者を対象に
教職員との個別相談を実施しまし
た。保証人と大学の教職員が、直接
対話できる機会はあまりなく、本懇
談会は交流を深める貴重な場となり
ました。また、保証人同士の交流の
場ともなり、和やかな雰囲気の中で
盛会のうちに終了となりました。参
加された方々からは、「詳しく説明
いただき、アットホームな雰囲気で
大変良かつたです」、「直接交流でき
る貴重な機会となり、とても有意義
な時間を過ごすことができました」
等、感謝の言葉を頂戴しました。

九段キャンパスで開催した懇談会
では、前述の大学報告や個別の面談
に加え、「就職に関する講演会」お
よび「教職に関する講演会」も行わ
れ、こちらも好評を博しました。

最後に、当日参加された保証人の
方からいただきましたアンケート結
果の一部を本号に掲載いたしました
ので、併せてご一読ください。

六月一十八日（土）の水戸会場を皮切りに各地で「地区別父母懇談会」が開催され、父母と大学教職員の交流が行われました。その内容を寄稿していただきました。

水戸会場

石塚 範子

二〇二五年六月二十八日（土）、水戸三の丸ホテルにて地区別懇談会が実施されました。

出席者紹介の後、押野副学長から大学の現況報告と国際政治経済学部についての説明がありました。学部説明では学生達一人一人を気遣いながらユーモアを交えてお話ししてくださいました。また、学科やゼミなどの説明もわかりやすく具体的で、とても興味深くお話を聞かせていただけました。

続いて、文学部の塩田先生は、学科や専攻の特徴などを丁寧に説明してくださいました。ゼミの説明では、三年生になった娘から漠然と聞いていた内容をきちんと説明していくことができました。娘が受験の時、国文学科に拘っていたことを思い出し、素晴らしい大学で学ばせていただいていることを実感しました。

事務局からは、学生生活を送る上で必要な単位取得やサポート体制など、保護者が知りたい情報を詳しく説明していただき、安心感を得ること



とが出来ました。

父母会の武石会長は、壇上だけでなく、質疑応答の時間に出席者の所まで来て直接声をかけてくださったので、その場が和み、皆さんの質問がしやすくなりました。説明会が終わってからも会長を中心にお話しをされている方達もいて、保護者も繋がれる大学の温かい雰囲気を感じ、とても良い時間を過ごせました。今回地元の水戸で懇談会を開催していただき改めて感謝申し上げます。

二〇二五年七月五日（土）ホテルメトロポリタン高崎にて地区別父母懇談会が開催されました。父母懇談会には参加してみたいと思いつつ、なかなか県外に足を運ぶことができずにおきましたので、今回の高崎での開催を楽しみにしておりました。伝統ある二松学舎大学で変わらず守るべきもの、時代に合わせて変化を続けていくもの、また、就職活動や海外留学について、学生生活で困ったことがあれば何でも相談できること等、それぞれ詳細にご説明いただき、保護者としてはとても安心いたしました。佐藤学長の気さくなお人柄にも触れ、学校全体がアットホームな雰囲気なのだろうな、と感じました。学長に限らず皆さんにこやかで、和やかな時間を過ごせました。また、事前に個別相談をお願いしておりましたところ、娘の出席状況やゼミの先生からの授業の様子などをご準備してくださっており、きめ細やかなご対応に大変嬉しく思いました。このような一つ一つの丁寧な対応からも、親元を離れた娘の学生生活を二松学舎大学にならお任せできると思いました。

また、父母会役員の方々ともお話を

高崎会場

宮下 裕子

二〇二五年七月五日（土）ホテルメトロポリタン高崎にて地区別父母懇談会が開催されました。父の会には参加してみたいと思いつつ、なかなか県外に足を運ぶことができずにおきましたので、今回の高崎での開催を楽しみにしておりました。伝統ある二松学舎大学で変わらず守るべきもの、時代に合わせて変化を続けていくもの、また、就職活動や海外留学について、学生生活で困ったことがあれば何でも相談できること等、それぞれ詳細にご説明いただき、保護者としてはとても安心いたしました。佐藤学長の気さくなお人柄にも触れ、学校全体がアットホームな雰囲気なのだろうな、と感じました。学長に限らず皆さんにこやかで、和やかな時間を過ごせました。また、事前に個別相談をお願いしておりましたところ、娘の出席状況やゼミの先生からの授業の様子などをご準備してくださっており、きめ細やかなご対応に大変嬉しく思いました。このような一つ一つの丁寧な対応からも、親元を離れた娘の学生生活を二松学舎大学にならお任せできると思いました。



しさせていただきました。子供の大学進学後はこういった交流はないものと思っておりましたので、大変充実した時間を過ごせました。この父懇談会を開催するにあたりご尽力いただきました皆様にこの場をお借りして感謝申し上げます。今後ともよろしくお願い申し上げます。



台風一過の猛暑のなか、二〇二五年八月二日（土）、二松学舎大学一号館において地区別父母懇談会が開催されました。我が子がどのような環境で学んでいるのか拝見したい思いから夫婦で出席させていただきました。想像していた以上に日本武道館や靖国神社が大学の近くにあり、高層ビル群や歴史的建造物、緑豊かな環境が見事に調和した最高の場所で学べている我が子をとても羨ましく思いました。

父母懇談会は式次第に沿つて行われました。父母会長挨拶、学長挨拶に始まり、両学部・学科の現況報告や大学の現況報告、Nishounipa 保証人ポータルの使用方法や就職・教職に関する講演会、教職員・父母会役員・来場者との交流会や事前希望者対象の個別相談会が行われ、和やかな雰囲気の中で有益な情報を得られる場、貴重な情報交換の場となりました。特に就職に関する講演会で、いよいよ学生が就職も進学もしている傾向にあること、キャリアセンターを一度も利用していない学生が四年以内に転職し、就職先のミスマ

九段会場

長曾我部 強

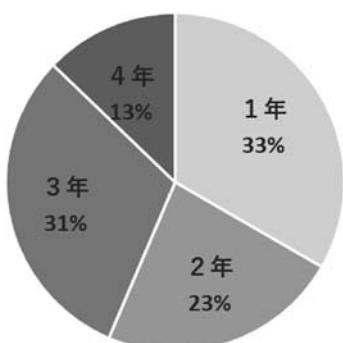
ツチを起こしている傾向にあることを知り、積極的なキャリアセンターの利用が就職活動を成功させる鍵だと感じました。

都心にありながらも静かで落ち着いた環境で学術的にも深い内容を熱心な先生のもとで学べることの幸せを感じながら日々勉学に励んでほしいと思いました。今後ともよろしくお願いいたします。

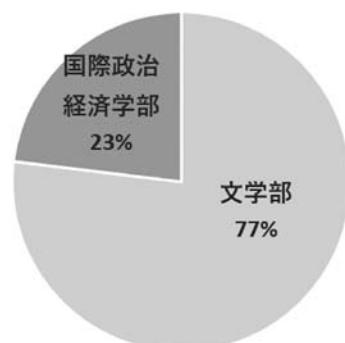
地区別父母懇談会アンケート集計結果

ご参加いただいた104世帯のうち、39世帯の保証人の皆様からアンケートのご回答をいただきました。貴重なご意見は、今後の父母会活動や次年度以降の地区別父母懇談会に活かしていきたいと思います。

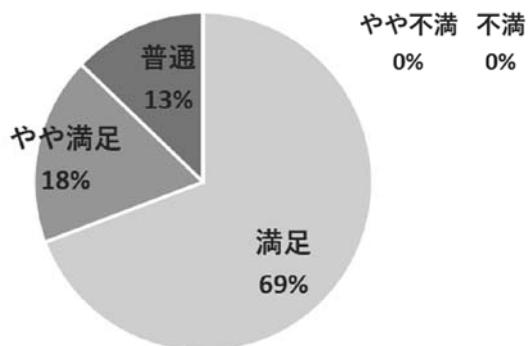
お子さまの学年



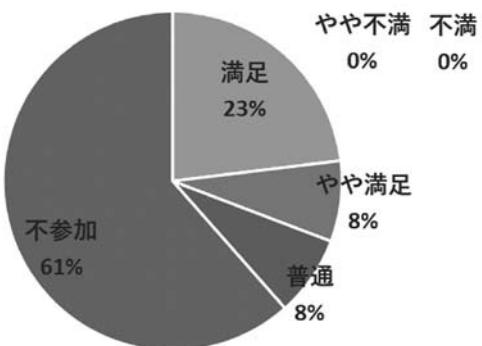
お子さまの学部



全体懇談会について



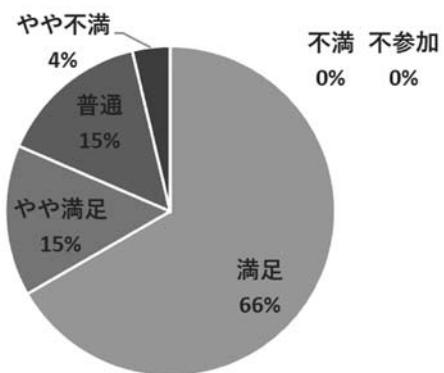
個別相談会について



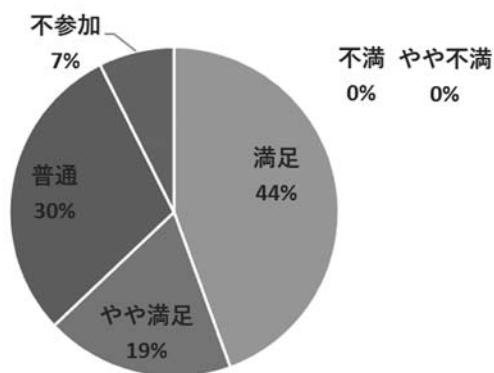
- 学部の状況やNishoUNIPA、就職活動のサポートなど知ることができ、父母の交流ができたことも良かったです。
- 履修登録と卒業要件などが資料からよく分かりました。また保護者の方々のお話が伺えたので参加してよかったです。

- 所属する学部の先生からのアドバイスや履修について教えていただきよかったです。
- 成績に不安があったことについて、具体的にご説明いただき助かりました。これから充実した大学生活が送れるよう、今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。

就職に関する講演会（九段会場のみ）



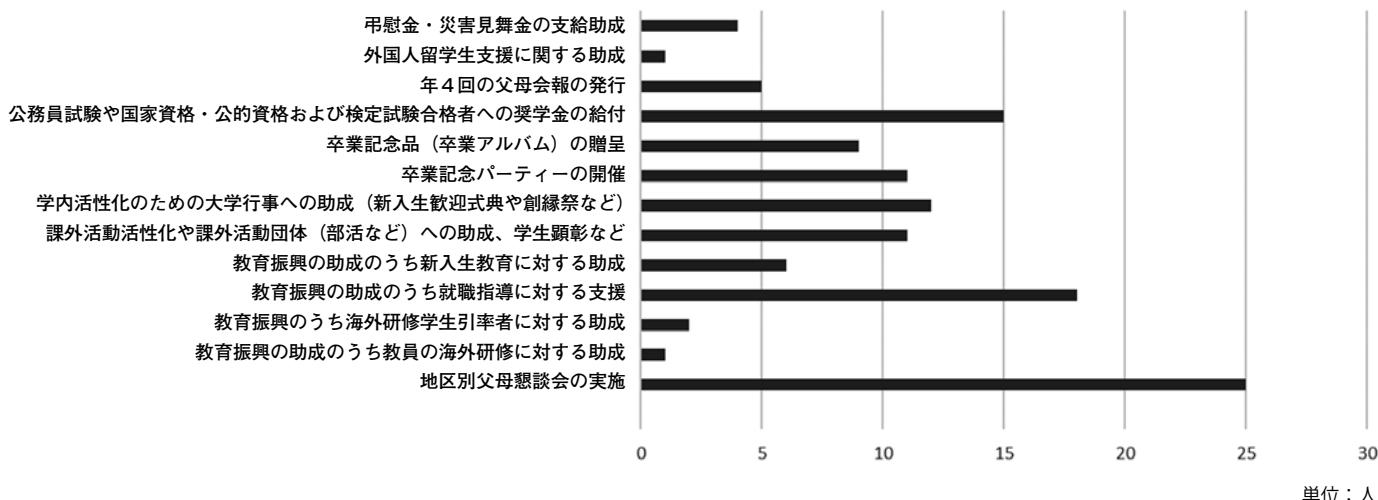
教職に関する講演会（九段会場のみ）



- 就活の情報だけでなく、就職しても辞めてもしまう現実など詳しく説明していただき、すぐたためになりました。
- 中々、聞きづらい基本的な事から今時の就活、学校の対応が聞けてとても良かったです。想像以上に手厚く対応していただけたと知り、安堵しました。本人にもキャリアセンターを活用するように働きかけます。また希望をある程度まとめておくなど夏休み中にも準備させたいと感じました。

- 今の教員採用について詳しくご説明していただきありがとうございました。
- 大学で教職に向けての対策などいろいろ取り組んでいただいていることにビックリしました。

二松学舎大学父母会が行っている各活動について、今後ますますの活性化が必要と思われる項目をお選びいただきました。



単位：人

海・外・語・学・研・修

父母会では、短期海外語学研修を行った五名の学生に寄稿していただきました。

文学部	歴史文化学科	一年
佐野 愛	台湾 淡江大学 約三週間	

最高の一言に尽きる。台湾で見た景色、学んだこと、出会った人々、すべてが感動として私の記憶に強く焼き付いている。

まず植生の違いから楽しかった。大學の敷地内から眺める山々は青く悠然としていて、一見日本の穏やかな田舎を思われるが、近くの街路樹や野草をよく見つめると、名前はおろか見覚えのないものばかりだった。南方にしか生息しない鳥、触れても害があるのかないのかすら分からぬ謎の虫など、多くの豊かさと刺激に私は包まれていた。



国際政治経済学部	国際政治経済学科	二年
糟谷 俊輔	フィリピン エンデラン大学 約二週間	

授業で覚えたての中国語を使い、たどたどしくタピオカを注文した時の緊張も忘れられない。あまりに正確さを欠いた私の発音にも真摯に対応し、慣れない英語でコミュニケーションを図ろうしてくれた店員さんには愛と勇気と優しさを感じた。日本語が得意な方も少なくなかつた。外出時、話してもいいのに「日本人でしょー！」と声をかけられたことは驚き、勘の良さに若干恐怖もしたが、あともニコニコと嬉しそうにされては警戒心も何も消え失せるというものだ。



に参加した人たちとの交流である。宮城、沖縄、東京、大阪の日本各地のほか、フランス、ドイツ、アメリカ、メキシコなど、世界から集まつた、立場も年齢も異なる人たち。楽し過ぎて望郷の念なんて微塵も感じないまま、三週間は終わつたのである。

人々と交流する中で、経済的に裕福ではない限られた環境でも明るく前向きに生きる姿勢も感じることができます。また、食事面では日本食が多くあります。この留学は語学以上に、社会の現実や多様な文化を理解する大切さを教えてくれる貴重な経験となりました。



ついでに、私はこの留学で最も印象的だったのが、現地の経済格差や、街ごとに異なる人々の暮らしぶりを知ることができました。特に衝撃を受けたことは、はだしの子供が道路で信号待ちしている車にものを売つっていたことです。日本ではあまり意識してこなかつた貧富の差を強く感じました。しかし、現地の





アメリカで過ごした三週間は、毎日が初めての経験ばかりで、とても充実した時間を過ごすことができました。本当に毎日が楽しく、あつという間に感じられました。そして、実際に留学を経験してみて、アメリカに留学する決めたことは自分にとって大きな意味があつたと実感しています。大学までの道中、午前中の授業、午後の校外学習、ホストファミリーとの生活、現地の大学で出会った友人と過ごした休日——そのすべての瞬間からたくさん

アメリカ合衆国 サンフランシスコ州立大学 約三週間

平栗 鳩

国際政治経済学部 国際政治経済学科 三年

の刺激を受け、成長できたと感じています。サンフランシスコの人々は本当にフレンドリーで、街を歩いているだけでもそれ違いざまに声をかけてくれることがありました。アメリカでの生活を通じて、言葉を使ってコミュニケーションを取ることの大切さと楽しさを感じました。

アメリカで過ごした三週間は、毎日が初めての経験ばかりで、とても充実した時間を過ごすことができました。アメリカでの生活を通じて、言葉を使ってコミュニケーションを取ることの大切さと楽しさを感じました。アメリカでの生活を通じて、言葉を使ってコミュニケーションを取ることの大切さと楽し

玉木 陽奈子

国際政治経済学部 国際経営学科 三年

イギリス ケンブリッジ大学 約二週間

今回の留学は、私にとって大変有意義な学びの機会となりました。語学力や専門知識の向上に加え、多様なパックグラウンドを持つ仲間と共に学び合うことで、自らの価値観や視野が大きく広がったと感じています。特に印象的であったのは、ディスカッションを重視した授業です。社会イノベーションや環境問題をはじめ、言語学などの講義においても、唯一の正解は存在せず、多角的な視点から考察する姿勢の重要性を学びました。日本では経験の少なかつた活発なディベートを通じて、賛否双方の立場を踏まえた論理的思考力や議論構築力を鍛えることができ



国際政治経済学部 国際経営学科 三年

高橋 沙也加

韓国 建国大学 約二週間

きました。異文化環境の中で言語や習慣の違いに直面することもありました。が、その一つ一つに対応していく中で、柔軟性と自信を培うことができたと実感しています。この経験で得た知識と人とのつながりを今後の学びや将来の目標に活かしていきたいと考えています。

短期のホームステイ留学だったが、ホストファミリーとの出会いいや学校での生活は想像以上に充実したものとなつた。初めは言葉が通じるか不安で緊張していたが、ホストファミリーは温かく迎えてくれ、食事や会話を通して少しずつ自然に会話のやり取りができるようになつた。特に、一緒に買い物に行つたり、料理を作るのを手伝つたりした時間は、とても貴重な時間だと思った。また学校では、授業だけでな



く、休み時間や放課後の友達との何気ない会話からも多くの学ぶことができた。文化や習慣の違いに戸惑う場面もあつたが、そのたびに相手を理解しようと努力することで、異文化を尊重する姿勢の大切さを実感した。この経験を通じて語学力だけでなく柔軟な考え方を身につき、自分の世界が広がったように感じた。

秋と言えば、スポーツの秋、読書の秋、芸術の秋…など、「○○の秋」と言われることが多いですね。

「○○の秋」と言われる理由を調べてみると、秋の気候が関係しているようで、気候的に過ごしやすいからこそ、心身の負担が減つて、スポーツや芸術を楽しむゆとりが生まれるというのが大きい

そうです。みなさん

はふだん、何かスポーツや芸術に触れる機会はありますでしょうか?

相談室では、プログラムとして、六月に『ハーバリウム作り』を開催しました。ハーバリウムとは、ブリザードドフラワー やドライフラワーをガラスなどの容器に入れて専用のオイルに浸したもので、植物の瑞々しさや美しい発色を長期間楽しめる人気のインテリアです。当日は十名以上の学生さんが、入れ替わり立ち代わりで参加され、思い思いの作品を作っていました。女子学生さんが多くなるかなと思いきや、男子学生さんも多く参加され、和氣あいあいと

調べてみると、秋の気候が関係しているようで、気候的に過ごしやすいいからこそ、心身の負担が減つて、スポーツや芸術を楽しむゆとりが生まれるというのが大きい

そうです。みなさん

はふだん、何かスポーツや芸術に触れる機会はありますでしょうか?

調べてみると、秋の気候が関係しているようで、気候的に過ごしやすいいからこそ、心身の負担が減つて、スポーツや芸術を楽しむゆとりが生まれるというのが大きい

そうです。みなさん

はふだん、何かスポーツや芸術に触れる機会はありますでしょうか?

調べてみると、秋の気候が関係しているようで、気候的に過ごしやすいいからこそ、心身の負担が減つて、スポーツや芸術を楽しむゆとりが生まれるというのが大きい

そうです。みなさん

はふだん、何かスポーツや芸術に触れる機会はありますでしょうか?

した時間でした。

参加された学生さんに感想を聞くと、「好きな素材を選んで瓶に入れるのが楽しかったです。」、「気分転換になりました!」と笑顔で話す姿が印象的でした。作業に集中すること、自分の作品を作ることで、ストレス発散や満足感に通じたのではないかと思いま

した時間でした。

参加された学生さんに感想を聞くと、「好きな素材を選んで瓶に入れるのが楽しかったです。」、「気分転換になりました!」と笑顔で話す姿が印象的でした。作業に集中すること、自分の作品を作ることで、ストレス発散や満足感に通じたのではないかと思いま

した時間でした。

今年も間もなく内定式シーズンである。新卒採用を行う企業では、例年十月一日に内定式と称して、内定者同士の親睦や企業へ入社する心構えを確認する大事な節目である。

この為、学生達の間では「内定式には就職先を決めなくてはいけない」といった無言のプレッシャーがあるのではないだろうか。

実際にキャリアセンターに相談に来る学生の中には、「内定式に間に合わせる為もうどこでも良いから内定が欲しい」や、「内定式を越えて就活をすることが恥ずかしい」といった悩みやジレンマを抱えているケースがある。周囲の友人やゼミ仲間等から内定式の話題を聞くにつけて、安に陥ってしまう気持ちは痛いほどよく分かる。

実際に内定式があると、就職活動をやり直したいといつた相談にも対応している。

今年三月に卒業した印象深い学生までは就職先を決めなくてはいけない」といった無言のプレッシャーがあるのではないだろうか。

実際に内定式があると、就職活動をやり直したいといつた相談にも対応している。

今年三月に卒業した印象深い学生までは就職活動を開始したのは卒業後半年をきった頃。勉学が忙しく、卒業の目途をつけながら就職活動を始めたいたいと思っていたら遅くなってしまったとのこと。そこからは予約相談に足繁く通い、自己分析・企業研究・履歴書の書き方、面接対策など一連の準備を短期間で行い、とにかく懸命に努力を重ねる学生だった。そんなひたむきな人柄は企業にも認められ、最終的には、

一人の悩みや不安をくみ取った上で、学生自身の意向を大切にしながら個別サポートを行っている。どの時期からでも、就職活動は始められるし、就職活動をやり直したいといつた相談にも対応している。

今年三月に卒業した印象深い学生までは就職活動を開始したのは卒業後半年をきった頃。勉学が忙しく、卒業の目途をつけながら就職活動を始めたいたいと思っていたら遅くなってしまったとのこと。そこからは予約相談に足繁く通い、自己分析・企業研究・履歴書の書き方、面接対策など一連の準備を短期間で行い、とにかく懸命に努力を重ねる学生だった。そんなひたむきな人柄は企業にも認められ、最終的には、

学生相談室 だより 130

カウンセラー 林 利恵



学生さんが作った作品

歳を重ねるほど、日々の生活に追われ、心の余裕がなくなり、つい自分が好きなことをする時間や、一息つく時間を持ちにくくなりますが。この秋にはぜひ、自分時間を作つて、一息ついてみてはいかがでしょうか。

キャリアセンター だより 80

平賀美奈 (1級キャリアコンサル)

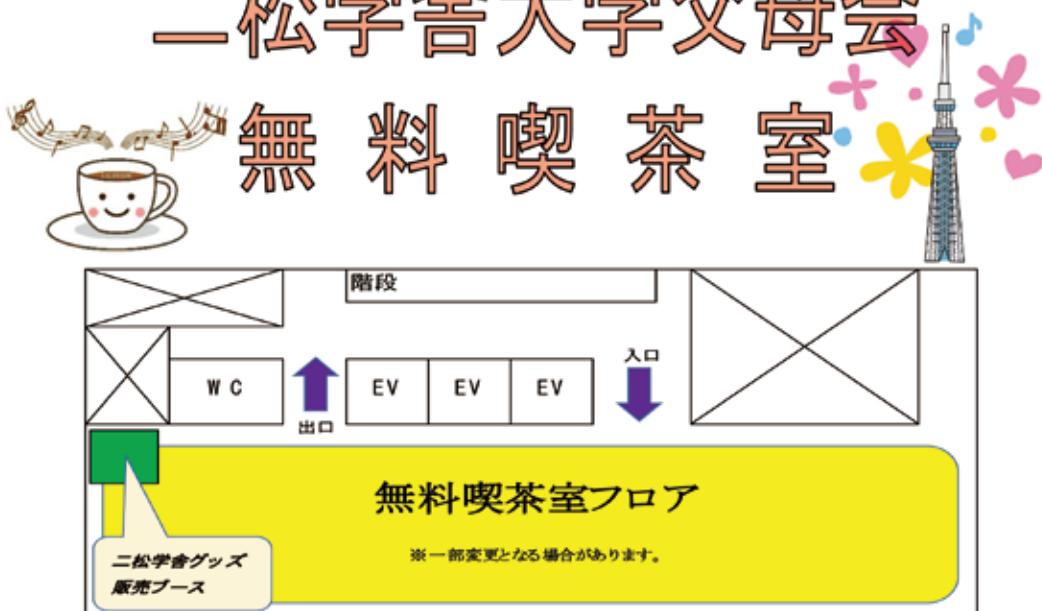
だが、そんな時こそ「自分自身の納得感」を大事にしてほしい。「とりあえず」や「仕方なく」の気持ちが強い就職活動は、入社後のミスマッチ、ひいては短期的な離職に繋がりかねない。

キャリアセンターでは、学生一人

就職活動に限らず、進路選択に迷つたり、不安を感じたら気軽にキャリアセンターに足を運んでほしいと願っている。決してとりあえずではない納得感を大切に。

就職活動に限らず、進路選択に迷つたり、不安を感じたら気軽にキャリアセンターに足を運んでほしいと願っている。決してとりあえずではない納得感を大切に。

二松学舎大学父母会



営業日時 [1日目] 11月2日(日) 10時～16時
[2日目] 11月3日(月) 11時～14時

A decorative border consisting of two rows of stars, one above the other, forming a continuous pattern.

毎年、創縁祭に同時開催しております父母会の行事です。学内最上階フロア『九段1号館13階ラウンジ』で、コーヒー・お茶、ジュース、お菓子などをご用意しております（無料）。ぜひお越しください♪

また、同フロアでは、二松学舎グッズも販売しております。そちらもぜひご覧になってください。

★飲食物持ち込み可。ちょっとした休憩場所としても、お気軽にご利用ください。

★同フロア内で、父母会の活動記録等も展示予定です。そちらも併せてご覧ください。

昨年 (2024年度) の様子



2025年8月2日(土)に開催された「二松学舎大学地区別父母懇談会(九段会場)」につきまして、NishoUNIPAに当日の模様を動画配信しております。

にうごまして、NISHIUCHI-HACに当日の模様を動画配信してくれ
る。都会の新しいタイミングでご相談いただけますと幸いです。

お問い合わせ窓口
二松学舎大学 学生支援課
TEL：03-3261-7427

E-mail : gakusei@ni

E-mail : yakusei@n

ANSWER

今年の夏も災害級の暑さでここ数年の異常気象に不安を覚えるほどでしたが、ようやく秋の気配を感じられそうな今日この頃です。

さて、今年も暑い時期に地区別父母懇談会を水戸、高崎、九段の三ヵ所で開催しました。新しい取り組みとし、今年は軽食を準備して皆様をお招きしました。また、ハガキで案内を送ったことも功を奏したのか、例年を上回る数多くの方のご参加となりました。ペーパーレス、デジタル化の世の中で皆様、誠にありがとうございますが、アナログの威力を感じた一場面でした。ご参加の皆様、誠にありがとうございました。来年も満足度の高い懇談会の開催を目指すべく、セオリー通りではなくイノベーションを起こしていきます。

さて、十一月には、創縁祭（学園祭）が開催されます。学生たちの作品、パワーに触れた後は、是非とも一号館十三階の父母会無料喫茶室に足をお運びくださいませ。須藤先生の淹れてくださる美味しいコーヒーの他、お茶、お菓子などを準備しております。その他、こちらも新しい取り組みで物販コーナーを開設いたします。私たちのおすすめは、ねこ松グッズと沢栄一お札せんべいです。皆様のお越しをお待ちしております！